

Small Talk台本①（第2時・第4時のはじめ5分）

進め方（文科省の型）：帯活動として2時間に1回。6年はペアで伝え合うことを中心に、相手を替えて1～2分×2回。1回目のあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく**本当の気持ち・本当の出来事**を話す。

話題1 先生のたからもの（第2時）

板書：My treasure is ～. I like ～. [glove / photo の絵カードを貼る]

T Hello! Look at this. This is my treasure!

こんにちは！見て。これが先生の宝物です！

T My treasure is this old glove. It's twenty years old!

先生の宝物は、この古いグローブ。なんと20年もの！

T I like baseball. I play every Sunday.

野球が好きなんです。毎週日曜日にやっています。

T How about you? What's your treasure? Pair talk!

みんなは？宝物は何？ペアで（相手を替えて1～2分×2回）

S My treasure is my bicycle. / My treasure is my dog.

（1文でOK。もの・生きもの・場所、どれでもよい）

つまった子への助け舟：「宝物なんてない」という子には、毎日つかっているものや好きな場所でもいいと伝える（ふてばこ・くつ・公園でも立派な宝物）。ねだんは関係ないと先生が先に言い切る。

話題2 先生のとくいなこと・やってみたいこと（第4時）

板書：I'm good at ～. I want to ～. [swimming / guitar の絵カード]

T I'm good at swimming. Look! I swim every Saturday.

（泳ぐジェスチャーをしながら）先生は泳ぐのが得意です。見て！毎週土曜日に泳いでいます。

T But I'm not good at music. I can't play the guitar!

でも音楽は苦手…。ギターは弾けません。（笑いが起きたら成功）

T So, I want to play the guitar. That's my goal this year.

だから今年はギターを弾けるようになりたい。それが目標です。

T How about you? What are you good at? Pair talk!

みんなは？得意なことは？やってみたいことは？（相手を替えて2回）

S I'm good at soccer. I want to play soccer every day.

（得意なこと1つ+やりたいこと1つで十分）

つまった子への助け舟：得意なことが出てこない子は「好きなこと」に切り替えてよい（I like で成立）。絵カードを2枚見せて Soccer? Or drawing? と選ばせれば、指さしても会話になる。



中間指導 1回目のあとに全体で（ことばの補給）

1回目のあとに全体で：「あいての話に Me, too! や Why? を返せた人？」→ 黒板に Wow! / Me, too! / Why? の3つを書き、どれか1つを選んで全員で10秒声に出す→相手を替えて2回目へ。6年は「返すことば」が伸びどころ。

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello! / How are you?
くり返す	Soccer? Me, too!（あいての言葉をくり返す）
ひとこと感想	Nice! / Wow! / Really? / Good!
たしかめる	Pardon? / One more time, please.
さらに質問	How about you? / Why?
おわる	Thank you. / See you!

先生へ

- ・6年最初のSmall Talk。先生の話は1分で切り上げ、ペアの時間を2回確保する（6年はペアで伝え合うことが中心。5年の聞く中心とは型が違う）
- ・宝物の話では値段や新しさに触れない。「古い」「毎日つかっている」を先生が価値として語ると、教室の宝物の基準がそこで作り直される
- ・I'm good at ～ のうしろは swimming のように形が変わる語と soccer のようにそのままの語があるが、文法の説明はしない。音のかたまりで渡す